

大阪+知的障害+地域+おもしろい=創造

# 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 2540号 2015.7.16 発行

## 熱中症を知る、防ぐ なぜ重症化…体に熱こもり、内臓にダメージ

朝日新聞 2015年7月15日  
暑さが厳しくなり、「熱中症」で病院に運ばれる人も増えてきた。重症化することもあり、総務省消防庁によると、4月下旬から7月12日までに10人が亡くなった。熱中症になってしまったときはどうすればいいのか。予防はどうすればいいのか。

「自分はならないと思っていたけど、あんなに苦しいとは。もうこりごり」。東京都新宿区の宮沢俊夫さん(63)はそう振り返る。

6月23日、一人暮らしの宮沢さんは普段通り、缶ビール数本を飲んで就寝。雨の予報のため、いつもは開けて寝る窓を閉めて寝たという。暑さは感じなかったが、夜中には寝汗がびっしょり。翌朝、起きたとたん強い吐き気に襲われた。

NPO法人などが地元団地で運営する「暮らしの保健室」の熱中症予防講座で、嘔吐(おうと)が症状の一つと聞いていた。病院を受診したところ、熱中症と診断され、それから5日間は下痢と吐き気が止まらなかったという。回復後は水分をこまめにとり、飲酒も控えめにしている。

熱中症は気温や湿度の高い環境で、体温調節がうまくいかなくなることで起こる。昭和

**熱中症**  
高温が原因で起こる暑く感じることで、体の水分や塩分が汗で蒸発し、体の調節機能が壊れることで発症する

**熱中症の仕組み**  
汗をかくことで体温を下げる。汗をかく量が足りず、体温が上がり、体内の水分や塩分が不足し、体の調節機能が壊れる。重症化すると、内臓にダメージを与える。

**現れる症状と重症度**

- 1度**
  - めまい
  - 立ちくらみ
  - 顔が赤い
  - 手足のしびれ
- 2度**
  - 頭痛
  - 吐き気、嘔吐
  - 体がだるい
  - 力が入れない
- 3度**
  - 意識がぼやける
  - 体がけいぞくする
  - 歩けなくなる
  - けいぞく
  - 体が硬い

**経口補水液の作り方**  
1日に飲む量: 成人 0.5~1L, 幼児 0.3~0.5L程度  
作りかた: ①水 1L, ②塩 1つまみ, ③砂糖 1つまみ, ④お酢 1つまみ  
※お酢は、胃液の分泌を促し、水分の吸収を助ける。

**気をつけるポイント**  
● 暑さを避ける設備  
● 風通しを良くする  
● 過度な運動をしない  
● 夜間、室温を下げる

**暑さ指数(WBGT)計を用いる**  
● 熱い食べ物や飲み物などで暑さを刺激しない  
● 運動を止めて休ませる  
● 十分な水分と塩分を補給する  
● 運動や活動で体力が消耗する汗をかく状態になる

**熱中症の危険度を示す目安**  
暑さ指数(WBGT)が26度以上になると、熱中症の危険度が高くなる。26度以上になると、熱中症の危険度が高くなる。26度以上になると、熱中症の危険度が高くなる。

の三宅康史教授（救急医学）によると、体は汗をかいたり、皮膚近くに血流を集めて冷ましたりして体温上昇を防いでいる。

ところが、暑い環境や激しい運動によって大量の汗をかき、水分や塩分が不足すると、内臓や脳をめぐる血流も減り、めまいや立ちくらみなどの熱中症の症状が現れる。そのまま高温多湿の環境に居続けると、症状が進み、頭痛や嘔吐、倦怠（けんたい）感などが出てくる。

さらに進むと、汗をかけないことや血流の低下で、熱を体外に発散できなくなる。内臓がダメージを受け、体温が40度を超すと細胞が壊れ始めて戻らなくなる。すると、意識を失ったり、多臓器不全になったりして、死亡してしまうことがある。

神奈川県立保健福祉大の谷口英喜教授（栄養学）は「熱中症は体に熱がこもり、臓器がゆで卵の白身のように固まって機能が低下してしまう状態。後遺症に苦しむ人も多い」と話す。後遺症には、記憶力低下などの神経障害や、腎臓や肝臓の機能不全などがあるという。

#### ■なった時は 一刻も早く、水分と塩分を補給

専門家は熱中症になったと感じた時、まずは体を冷ますため、風通しのいい木陰など涼しい場所で横たわることを勧める。衣服のベルトやボタンを緩め、首や太ももの付け根、わきの下など太い血管周辺を冷たいタオルで冷やす。

医療機関を受診するかは重症度から判断する。日本救急医学会の分類では、めまいや立ちくらみは重症度「1度」。見守りながらその場の応急処置で対応できる。頭痛や吐き気があるときは「2度」で、受診が必要に。呼びかけても返事がおかしかったり、意識がなかったりする時は「3度」で入院が必要になる。

応急処置では一刻も早い水分と塩分の補給も重要だ。ただ、水だけでは体内の塩分濃度が下がって症状を悪化させるおそれがあるという。

日本救急医学会のガイドラインでは塩分を含んだ飲み物、中でも「経口補水液」が適切としている。神奈川県立保健福祉大の谷口教授によると、水が小腸で吸収されやすいよう糖分も入っており、「早く飲めば、後遺症を減らすことが期待できる」という。補水液は水1リットルに対し、塩3グラム、砂糖20～40グラムをまぜれば自宅でも作れる。レモンなどを加えれば飲みやすくなるが、自分で作る時は腐らせないように注意が必要。薬局などで市販品も買える。

#### ■体感鈍る高齢者、熱中症計や予報で判断を

専門家は「暑さ」と「水や塩分の補給」に気をつければ「熱中症はなくせる病気だ」と口をそろえる。

昭和大の三宅教授によると、昨夏は全国で約29万人が熱中症で医療機関を受診した。患者数に影響するのはその夏の「暑さ」が大きいという。「7、8月は暑さを避ける生活スタイルに変える発想の転換が必要。特に35度を超える日や熱帯夜が続くと、脱水や低栄養状態が進み、特に高齢者は持病が悪化したり、感染症にかかったりするので要注意」と話す。兵庫医大の服部益治教授も高齢者は気温や体温の変化を体で感じづらくなるため要注意だと警告する。

暑さへの対策としては、外出時にぬれタオルを持ち歩いたり、自宅なら植物のカーテンやすだれで日差しを遮ったりする方法がある。

「赤黄青」の色調などで危険性が一目でわかる「熱中症計」や、環境省のサイトで発表され、熱中症の危険度がわかる「暑さ指数」(<http://www.wbgt.env.go.jp>)も参考になる。服部教授は「自分は大丈夫と考えがちな高齢者ほど危険。自分の感覚ではなく、客観的な数値で判断するように気をつけてほしい」。

水分では、大人なら3度の食事で約1リットルの水分を摂取しており、ほかに1日約1.2リットルが必要だ。入浴前後や就寝前など、のどが渇いていなくても飲む習慣をつける。3度の食事をとっていれば塩分は足りているが、屋外を歩くなど汗をかくときには、補給を心がける必要がある。

「教えて！『かくれ脱水』委員会」（委員長＝服部教授）のサイト（<http://www.kakuredassui.jp>）で、他にも対策を知ることができる。（竹野内崇宏）

## 自家栽培の野菜で和定食 当別、障害者就労支援のレストラン



北海道新聞 2015年7月14日  
「季節の小鉢御膳」（手前）の完成を喜ぶ、桜井香里さん（前列左から2人目）とぺこぺこのはたけのスタッフら

【当別】町内にある障害者就労支援のレストラン「ぺこぺこのはたけ」（太美町1481）がランチメニューを一新し13日、再オープンした。東京・銀座のレストランの監修の下、併設する畑で採れる野菜を最大限活用できるよう、6品の小鉢がついた和定食の提供を開始。「野菜畑を眺めながら味わってほしい」と呼び掛けている。

ぺこぺこのはたけは、町内の社会福祉法人「ゆうゆう」が障害者の就労支援と地域住民の交流の場を目的に、2011年11月にオープンした。これまで札幌市内のホテルから料理人を招き和食ランチを提供してきたが、料理人の退職を機に、メニューを一新することにした。

新メニューは銀座に店を構える「銀座ライス」の代表桜井香里さん（36）に依頼した。炊きたてご飯と家庭風総菜が人気の店で、桜井さんがゆうゆう理事長の大原裕介さんと高校の同級生だった縁で実現した。

桜井さんが考案したのは、コロッケやサラダ、煮浸しなど6品のおかずにご飯やみそ汁がついた「季節の小鉢御膳」で一食700円。同店の敷地内には、スタッフが世話をする畑があり、ミニトマトやカボチャなど収穫に合わせて小鉢の中身を変える。

これまでは1カ月ごとにランチメニューが決まっており、収穫した野菜をうまく活用できないことがあったという。6月29日から2週間、店を臨時休業し、スタッフ一丸となって配膳や調理の練習を重ね、12日には関係者約30人を招き試食会を開いた。

ぺこぺこのはたけを応援する地域住民によるボランティア組織「サポートクラブ・ぺこちゃん」の五賀利雄会長（78）は「品数が多く大変おいしい。多くの人が訪れて地域がもっと盛り上がるきっかけになれば」と期待する。

営業は平日のみの午前11時～午後5時。8月からは土曜日の営業も検討している。問い合わせはぺこぺこのはたけ（電）0133・27・6440へ。（山中いずみ）

## 【PR】親が「毒親」だからといってあなたが不幸になる必要はない

『「毒親」の子どもたちへ』著者・斎藤学氏インタビュー

シノドスジャーナル 2015年7月15日

「毒親論」は本質的に宿命論だ——「アダルト・チルドレン（AC）」の概念を日本へ導入した精神科医の斎藤学（さいとう・さとる）氏は、親バッシングに終始してしまう「毒親」ブームに警鐘を鳴らす。「毒親」の子どもたちにも、たくさんの可能性がある。「毒親」から本当に自由になるためには、どうしたらいいのだろうか。話題の書『「毒親」の子どもたちへ』についてインタビューを行った（聞き手・構成／シノドス編集部 山本菜々子）

### 「毒親論」は宿命論

——『「毒親」の子どもたちへ』では、「毒親論」を批判されていますね。

最初にお伝えしておきたいのですが、私は「毒親論」を批判しているのであって、「毒親」と呼ばれる親たちを擁護しているわけではありません。また、この本を単純な「反毒親論」にはしなかったつもりです。

あとがきにも書きましたが、「毒親論」は AC という概念と同じように、核家族をノーテンキに褒め称える「家族は天国」論へのカウンターになったと思います。実際、家族や家庭というのは、立場の弱い子どもや老人にとっては地獄になりえますから。

——それでも批判されたのは、どうしてでしょうか？

「毒親」という言葉は、スーザン・フォワードの『毒になる親（原題『Toxic Parents（毒親）』）』という著書で初めて使われました。子どもの人生を支配し、子どもに害悪を及ぼす親を「毒親」と命名しています。この本自体は、非常にバランスの取れたものです。

ところが、昨今の「毒親」ブームでは、親を糾弾するための言葉として使われています。最も重要な「これから自分はどうすればいいのか」という点をおざなりにしたまま、「毒親の子どもだから自分はもうダメだ」という宿命論になっているのです。これは、とても惜しい。だから、本を出したわけです。

——「どんな親たちの子であろうと、自分の未来は自分で決められるもの」と書かれていたのが印象的でした。

私は、アメリカで生まれた「アダルト・チルドレン（AC）」（注1）という概念を日本に導入しました。AC というのは、健康な家族の機能を果たしていない「機能不全家族」の中で育った人たちのことです。

（注1）アダルト・チルドレン（AC）：もとは『アダルト・チルドレン・オブ・アルコールリクス（ACoA）』、つまりアルコール依存症の親のもとで育ち、大人になった人という意味。日本においては、嗜癖を持つ親、虐待する親、機能不全家族などで育ち、なんらかのトラウマを負ったと考えられる成人を指す。

そういう機能不全家族の中で育って“生きづらさ”を自覚している人たちにもたくさんの可能性があることを、普段の診療、AC の自助グループ（注2）の支援はもちろん、執筆においても、私は一貫して言い続けてきました。AC は着地点ではなく、そこから成長していくための出発点です。だから、現在の「毒親論」のように宿命的な着地点として語られるものは、丁寧に排除してきたと思っています。

（注2）自助グループ：シェアリングなどを通して当事者同士で助け合うことを目的としたグループ。

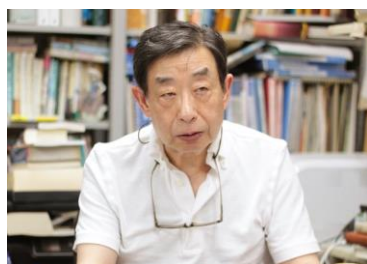
——言葉が適切に使われていない、ということでしょうか？

「毒親」という言葉が、独り歩きしてしまっているように感じます。

「アダルト・チルドレン」という言葉が使われ始めたときも、「子どもっぽい大人」や「大人っぽい子ども」を批判するための言葉として誤用され、便利に使われました。が、AC というのは他人にレッテル貼りをしたり、バッシングしたりするための言葉ではありません。当事者が、自分の行動パターンや感情を把握するための言葉です。

「毒親」も AC から派生した概念ですが、その分かりやすさゆえに、より独り歩きしてしまっているように思います。「毒親」か「そうじゃない親」かが安易な二元論で語られ、親をバッシングするための言葉になっているようです。

だいたい人間のように多面的で多様なものを、「毒親」と「そうじゃない親」に簡単に分けることはできません。「親の価値観を押しつけられてきた」という理由で、自分の親を「毒親」であると主張する人がいます。「女の子らしくすることを強要されて嫌だった」「勉強ばかりさせられた」と。確かに子どもにとっては迷惑なことです。が、親だって子どもが社会に出たときに困らないようにと考えて、そうしたのでしょう。いたらない親ではあ



たでしょうが、そもそもほとんどの親はいたらない親です。他罰は自罰の裏返し

——しかし、これまでの日本では「親には感謝しなきゃ」と周囲から言われ、なかなか親を批判することは難しかったと思います。その中で「毒親論」は風穴を開けたと感じますし、自分の親を「毒親」だと認めたことで楽になった人もいないではないでしょうか。

当然、自分の指標にする意味で、一時的に「毒親」という言葉を使うぶんには問題ありません。親を否定することで依存関係を断ち切っていくのは、

誰もが通る健全な段階です。ただ、いつまでも「毒親論」にしがみついてしまうのは問題です。

私のクリニックには、さまざまな患者さんが訪れますが、最近のブームもあり、みなさん「私の親は毒親なんです」と言う。しかし、親に目を向けすぎると自分に目が向かなくなる。現在の問題も見えなくなる。そちらのほうが問題でしょう。

#### ——現在の問題とは、なんでしょう？

人によって嗜癖（アディクション）（注3）や人間関係の軋轢などさまざまでしょうが、なぜ自分はこんなつらい目にあっているのか、それを説明する言葉がほしくなって『『毒親』に育てられたから』だと考えます。つまり、「毒親」という言葉は、自分の現在の状況を表しているのです。

（注3）嗜癖（アディクション）：依存症のこと。アルコールやドラッグ、ニコチン、カフェイン、食べ物などの物質に依存する「物質嗜癖」、ギャンブルやセックス、放火、窃盗、ショッピング、仕事などの行為過程に依存する「プロセス嗜癖」、人間関係に依存する「共依存」、恋愛に依存する「恋愛依存」などがある。

本当のところ、人生においては親以外のさまざまな人との関わりがあり、それによる挫折があるはず。それなのに「毒親」という言葉を安易に使うことによって、親子間だけの直接的な原因結果論と考えるのは単純すぎるでしょう。

そうして「自分の親が毒親だから、こんなにつらいんだ」と思って親を責め続けるのは、他罰的な考え方（他罰感情）と言えます。これは「こんな自分で申し訳ない」という自罰感情の裏返しではないでしょうか。他罰も自罰もよい変化をもたらしませんから、どちらも手放したほうが良いと思っています。

#### ——なるほど。では、親について語る必要はないということですか？

シェアリング（注4）の場合などで語ることは、大きな意味があるでしょう。

それでも「親からこんなことをされた」「親から愛情を受けてこなかった」と過去に目を向け続けるだけでは、現在の状況は改善しません。過去（子ども時代）を変えることはできません。また、他人である親を変えることも、なかなかできないでしょう。そもそも、簡単に変えられる親ではないから「毒親」だと思っているはず。

（注4）シェアリング：多数の好意的聴衆の前で、自分の困っていることについて誠実に語るというもの。主に自助グループや精神科などで行われている。

確かに過干渉だったり無視したり、虐待したり、精神障害を持っていたりと、「毒親」と言われても仕方がない親もたくさんいます。ですが、その場合でも、現在の自分のつらさに目を向けないと問題は解決しないのです。

#### どんな自分になりたい？

——『『毒親』の子どもたちへ』は過去に目を向けるのではなく、未来をどうするのかを考えていく本なのです。

そうですね。私が AC の概念を導入したときから、「じゃあどうやって治せばいいの」という声は、たくさんいただいていた。本の前半は毒親論への反論になっていますが、後半ではその問いに答えるべく、精神療法の総括のような形で書きました。

よく私は患者さんに「治ったら何をしたいですか？」と聞きます。そうすると、みなさん「学校に行きたい」「仕事をしたい」と答えますから、それは本当に自分がしたいことなのかもう一度考えてもらいます。

自分にとっての目標を「自我理想」といいます。自我理想が見えないときに、人は疑心暗鬼になり不安になってしまうのです。逆になりたい自分に近づこうと努力すると、自罰のエネルギーを他に向けることができます。ただし、自我理想は何でもいいというわけではありません。うまく設定してやるのが大事です。

#### ——自我理想をうまく設定する……、難しそうですね。

たとえば女性の場合、「自我理想」を痩せた人に設定してしまうことがあります。「痩せれば幸せになれる」と誤解した結果、必要以上に痩せすぎてしまうのです。これは間違った設定の仕方ですね。ところが、そういう人に限って、勉強ができることが多いんです。

よ。食欲をコントロールできるほどの強い意志を持っているからです。そのエネルギーを他へ向けると、高い能力が発揮できる可能性があります。

——間違ってしまった場合は、どうしたらいいのでしょうか。

私の担当している患者さんにも、誤った自我理想を設定したために、摂食障害になってしまった女性がいました。彼女も非常に勉強ができ、医学部に入りました。でも、卒業して研修医になると、医者は体力勝負ですから、栄養不良ではついていけなくなります。それが不安でものを盗むようになり、何度もつかまってしまいます。精神病院に入りましたが、人前が出るのがこわくなってしまいました。

まず、私は彼女に「痩せる」以外の目標を立ててもらいました。彼女は認定医になることを目指すことにしました。「痩せた女性」から「認定医」に自我理想をチェンジさせたわけです。そうすると、いやが応でも体力が必要ですね。ある程度の食事をとらないと仕事をこなせません。今、彼女は研修医としてがんばっていますよ。

——なるほど。間違えても設定し直せばいいんですね。

そうです。彼女には、認定医になったあと、摂食障害を治療する専門のセラピストになるようすすめています。摂食障害をよく知っているわけですから、治療のプロフェッショナルになれるでしょう。さらに、摂食障害の専門医が過剰に痩せていたらまずい。自分で自分のことをコントロールするようになるでしょう。最初の患者としての自分と向かい合うことになるんです。

このように、どんな自分になりたいのかを考えます。そして、その自分を演じてみましょう。外見から入っていくのも効果的です。目標に一步でも近づこうという意欲が、生活を秩序だてるからです。自我理想があれば、それに近い行動かどうかで日常生活の場面でも YES か NO か判断できますから、少なくとも砂漠の中で一人迷子になっているような状態にはなりません。日々の指針になるわけです。

——それを続けていくことで未来は変えられる、と？

残念ながら過去は変えられないけれど、自分の考え方と未来は変えられます。本の中では、夏目漱石の『明暗』を紹介しながら、そのヒントを提供したつもりです。

タイトルの『「毒親」の子どもたち』というのは、自身を健全だと思って毎日を過ごしている人たちをも含めた全ての人のこと。みなさんが自分自身の人生を進むための一助になれば、そう願っています。



「毒親」の子どもたちへ

著者／訳者：斎藤 学 出版社：メタモル出版(2015-02-23)

定価：¥ 1,490 Amazon 価格：¥ 1,490

単行本(ソフトカバー) (184 ページ)

ISBN-10 : 4895958744 ISBN-13 : 9784895958745

斎藤学(さいとう・さとる) 精神科医

1941年生まれ、精神科医。慶應義塾大学医学部卒業後、フランス政府給費留学生、国立久里浜病院精神科医長、東京都精神医学総合研究所副参事研究員などを経て、95年にさいとうクリニック、家族機能研究所を設立。摂食障害やアルコール中毒などの嗜癖(依存症)、家族の機能不全に関する研究の第一人者として

日本嗜癖行動学会理事長などを務める。日本トラウマ・サバイバーズ・ユニオン(JUST)ほか、数多くの自助グループを支援し、各地で講演やワークショップなどを行う。『アダルト・チルドレンと家族』(学陽書房)などの著書、翻訳書、多数。



戦前は「甲・乙・丙・丁」評価…通信簿

読売新聞 2015年07月14日

学校から帰宅し、おそろおそろ差し出した通信簿に目を通した父親は「何だ、これは！」と激怒した。

埼玉県熊谷市の鈴木三重子さん(81)が、戦時中の国民学校時代の通信簿の思い出を手紙で寄せてくれた。「成績に厳しい父が怖く、どなられるたび走って逃げていた」

通信簿に詳しい鳥取大の山根俊喜教授（58）によると、通信簿は学校が児童生徒の学習状況などを家庭に伝える連絡手段として1890年前後から普及した。「通知表」「通信箋」などとも呼ばれ、戦前は「甲、乙、丙、丁」の4段階評価、国民学校では「優、良、可」が主流だった。

**同じ教科を複数の観点から評価する現在の通信簿**

兵庫県丹波市の青木義雄さん（74）は、小学1年生当時の「通知簿」のコピーを送ってくれた。「戦後間もないころでざら紙をガリ版で刷っただけ」という評価欄は、「国語」「社会」「算数」「音楽」「図工」「体育」など、ほとんどが「優」の判子で埋まっていた。



その後、高度成長期にかけて数字の5段階評価などが広く使われるようになる。だが、「数字が並ぶだけでは、学力の具体的な状況が分かりにくい」との批判があり、1970年代以降は各教科を数字で評価するだけでなく、「関心」

「意欲」「理解力」といった観点別に、「よくできる」「できる」「もう少し」などの言葉で評価する方式が小学校を中心に広まった。

2000年代に入ると、小学校の7割は観点別評価だけを行い、中学校では観点別と数字による教科の評価を併せて行う方式が多くなった。名称は「あゆみ」など親しみやすい呼び方が定着した。通信簿には教員のコメント欄もあるが、教育調査研究所の小島宏さん（73）は「最近、欠点でなく良い点や進歩した点を強調する傾向にある」と話す。ただ、手書きは減った。

東京都千代田区立お茶の水小の清水智子副校長（54）は「以前は、手を洗い机を拭いてから万年筆で慎重に丁寧に書き込んだ」と懐かしむ。今は、パソコンに入力しプリントした紙をファイルにとじる方式。風情は感じられないが、「子供一人ひとりへの思いを込めて書く気持ちは変わらない」そうだ。（石井正博）

**児相負担金1452万円算定ミス**

読売新聞 2015年07月15日 千葉

県は14日、児童相談所（児相）の入所に伴う保護者からの負担金徴収で、2010年7月から今年6月までの5年間、211人の計1452万円分の算定を誤っていたと発表した。課税状況の把握ミスなどが原因で、県は全対象者に謝罪文を送った。過少認定していた3年分の890万円分は追徴する方針だ。

負担金は保護者の支払い能力に応じて額が決まる仕組みで、市町村民税や所得税額などの課税状況などから各児相が判断する。

県児童家庭課によると、今年2月、年少扶養控除（10年度に廃止）の運用を誤った受け取りすぎの事例が判明。県所管の児相6か所で過去5年に認定した2494人分を調査したところ、所得税額の推計や住宅ローン減税の適用などのミスが全児相で見つかった。

調査の結果、認定額が多すぎたのは91人、計299万円に上り、これらの対象者には今後、還付する。過少認定は120人、計1152万円で、うち12年7月から今年6月に認定された890万円を対象の保護者から追徴する。保護者1人あたりの追徴最高額は

138万円余りに上るといふ。

県庁で記者会見した県健康福祉部の川嶋博之次長は「事務処理のやり方が兎相職員に徹底されていなかった。今後は内容確認の徹底などチェックの強化を図る」と話した。

**ロボット通じて会話…高齢者向け「テレノイド」** 読売新聞 2015年7月14日  
通信ロボット「テレノイド」を抱きかかえて通話する実演が行われた。右が石黒教授（13日、東京都千代田区で）＝加藤祐治撮影

国際電気通信基礎技術研究所（ATR、本社・京都府精華町）などは13日、高齢者がロボットを通じて遠方の人と対話する事業を行うと発表した。当面は、高齢者施設にロボットを貸し出して事業を始め、将来は在宅の高齢者にも対象を広げるといふ。

ロボットはATR内の特別研究所の所長を務める石黒浩・大阪大教授が開発。名前は「テレノイド」で、抱きかかえた状態で電話のように通話できる。高齢者はロボットに話しかけるように、会話を担当するオペレーターと雑談したり、健康状態を話したりする。テレノイドは、人間の外見をあえて単純化した外観で、高齢者が相手の顔を自由に想像しながら話す効果を狙っている。東京都内で記者会見した石黒教授は「認知症などで介護が必要な高齢者がテレノイドで会話すると、情緒が安定する効果がみられる」と話す。



**癖から個人を特定する技術「捜査に活用」** NHKニュース 2015年7月14日

人の歩き方を細かく分析して歩く癖などから個人を特定する最新の技術が14日東京・江東区で報道陣に公開されました。この技術は事件の捜査などに役立てようと、警察が試験的に活用を始めています。

14日公開された技術は、大阪大学産業科学研究所の八木康史所長が開発したものです。歩く人の姿をカメラで撮影し、その速さや姿勢、手と足のふり方など8つの項目について調べて性別や年齢だけでなく、歩き方の特徴を細かく分析します。

これまでに集めた3500人のデータでは、歩き方を詳しく分析することで、94%の確率で個人を特定できたほか、歩き方から年齢を推定すると、これまでのケースでは実際との誤差は6歳程度だったということです。

この技術を活用すると防犯カメラに映った人物が犯人なのかどうか絞り込むことができ、50メートルほど離れていたところを撮影した映像でも解析が可能だということです。

八木所長が開発した技術については、警察も試験的に使い始めていて、これまでに事件の犯人を逮捕する重要な手がかりになったケースもあるということです。

14日は、この技術の捜査以外の活用例として、歩きながら簡単な計算をしてその正解率から脳の健康状態を分析し、認知症の予防やリハビリに役立てようとする取り組みも紹介されていました。大阪大学産業科学研究所の八木康史所長は、「一卵性の双子でも歩き方は全く異なり、歩き方にも個性があります。個人情報にも配慮しながら防犯カメラに映ったビッグデータを活用することで犯罪の捜査だけでなく警備や防犯にもつなげることができ、安全で豊かな社会に貢献できると思います」と話していました。

この技術は15日から来年4月まで東京・江東区の日本科学未来館で一般に公開され、参加した人はみずからの歩き方を詳しく分析することができます。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

